

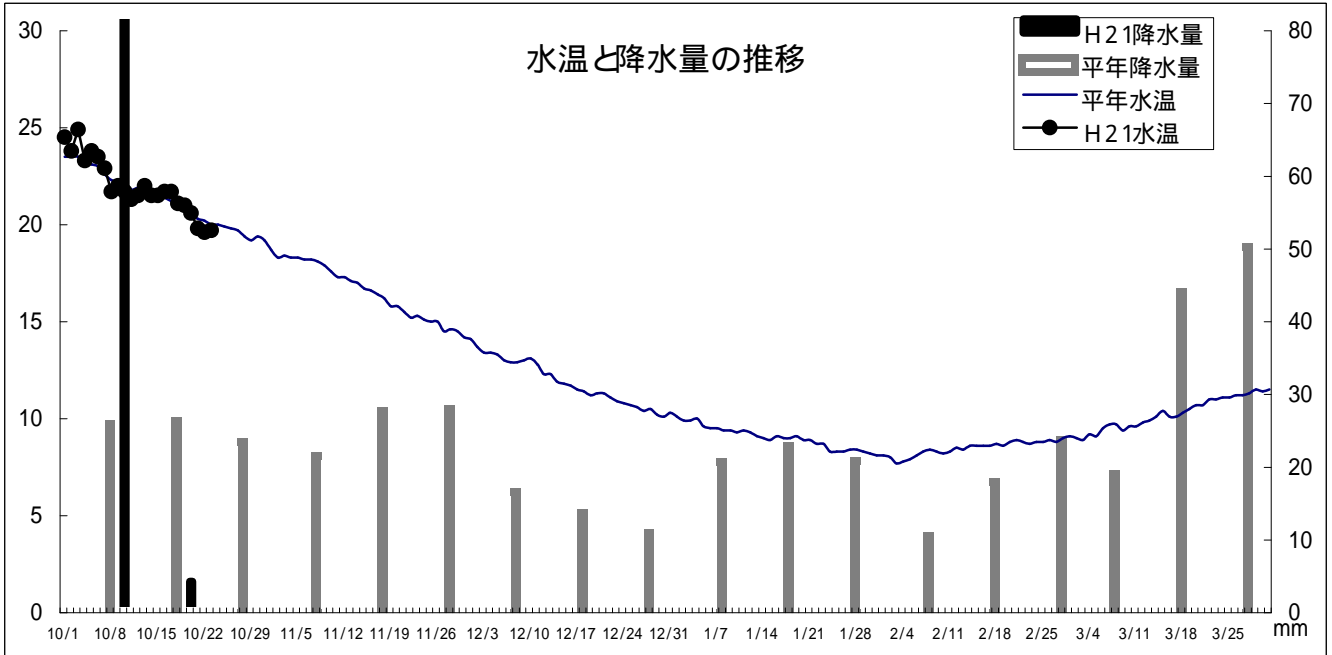
川情報 (第3号)

平成21年10月23日
 山口県水産研究センター
 内海研究部

1 気象 海況

(1) 水温と降水量

水温は、10月8日から17日まで21 台で推移していましたが、その後は順調に低下しており、23日は19.4で平年より0.3 低くなっています。降水量は、13日以降観測されていません。週間天気予報によると、比較的穏やかな天候が続くようです。



(2) 栄養塩

10月22日に採水し、栄養塩分析を行いました。結果は以下の表および別紙図のとおりです。

単位 :ガンマ (μg/?)

地区名	採水ヶ所	DIN		PO4 - P	
		平均	最小-最大	平均	最小-最大
下関	2ヶ所	87.8	(73.8-101.7)	13.6	(10.5-16.7)
宇部	13ヶ所	23.1	(17.0-29.0)	6.2	(5.0-9.0)
防府	2ヶ所	33.9	(32.8-34.9)	11.8	11.8
小野田	6ヶ所	13.3	(10.0-30.0)	7.8	(5.0-18.0)

小野田地区については、山陽小野田市環境調査センターによる19日の測定結果である。

下関地区では窒素およびリンとも十分にありますが、他地区では前回同様低い水準にあります。降水等による今後の回復が待たれます。

3 採苗および育苗

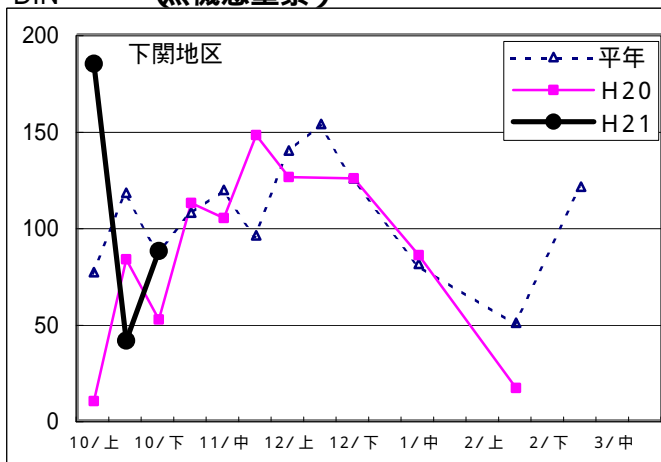
(1) 壇紫菜

早い網では摘菜準備に入っていましたが、栄養塩不足による色落ちおよび海況の悪化によると考えられる芽落ちが発生し、生産対象にならなくなったため養殖を中止することになり順次網上げを行っています。また検鏡の結果、一部の網で壺状菌病の初期症状が見られています。

(2) 在来種

王喜地区では、早いところでは16日に糸状体の搬入が開始され17日から採苗が開始されました。胞子の放出は順調で17日から20日にかけてほとんどの採苗を終了しています。芽付は適正からやや濃いめです。藤曲浦地区では週末までには採苗終了の予定です。採苗後は穏やかな天候が続く、また潮回りが育苗に不向きなため、網の汚れやアオの着生、病害発生が心配されます。昼間の干出を十分にとることや網洗いの実施、重ね網からの早い展開を行う、適正な酸処理を実施するなど最新の注意を払って育苗管理を行ってください。

DIN (無機態窒素)



PO4-P (リン酸態リン)

